

会 議 録

1 会議名	平成23年度第7回宇都宮市上河内自治会議
2 開催日時	平成23年12月19日(月) 午後2時00分～午後4時30分
3 開催場所	宇都宮市上河内地域自治センター大会議室
4 出席者	<p>【委員】</p> <p>太田正, 東原勸, 赤羽博行, 江連脩身, 神山光男, 亀田勝敏, 川津昭夫, 北見和弘, 田口利男, 手塚道子, 手塚安則, 星優美子, 谷田部喜美江, 横塚境, 君島恭子, 櫻井清一, 藤井直和</p> <p>【事務局】</p> <p>地域自治制度担当副参事, 上河内地域自治センター所長, 地域経営課長, 地域づくり課長, 保健福祉課長, 産業土木課長, 地域経営課職員</p>
5 公開・非公開	公開
6 傍聴者数	<p>【傍聴者】 なし</p> <p>【記者】 なし</p>
7 会議経過	<p>1 開会</p> <p>2 会長あいさつ</p> <p>3 報告</p> <p>4 議事</p> <p>「地域のまちづくりに関する施策の提案」について</p> <p>(1) 資料等の説明</p> <p>(2) グループ協議</p> <p>(3) 発表</p> <p>5 その他</p> <p>6 閉会</p>

1 開会
第7回宇都宮市上河内自治会議開会
2 会長あいさつ
太田会長よりあいさつ
3 報告
平成23年2月に市長に提出した「地域のまちづくりに関する施策の提案」について, 市長に代わり自治振興部地域自治制度担当副参事から宇都宮市上河内自治会議会長へ回答書が提出された。

4 議事	
「地域のまちづくりに関する施策の提案」について	
会 長	<p>次第4の議事に入らせていただく。</p> <p>「地域のまちづくりに関する施策の提案」について、資料等について事務局から説明願う。</p>
事務局	<p>「重点課題の設定」について説明する。</p> <p>前回のグループ協議で決定した意見をもとに、担当するまちづくりのテーマの強み・弱み・チャンス・ピンチをクロス分析し、「強みを活かしチャンスをものにするための課題」、「強みを活かしピンチを退けるための課題」、「弱みを克服しチャンスを逃さないための課題」、「弱みを克服し最悪の事態を招かないための課題」を抽出していただき、その中から重点課題を5つ設定していただく。</p> <p>また、グループ協議終了後は、環境・景観・防災・上下水グループから発表をお願いします。</p>
会 長	<p>前回同様、グループ協議で重点課題について議論していただくということであるが、何か不明な点はないか。</p>
全委員	<p>意見・質問なし。</p>
会 長	<p>それでは、グループ協議をお願いします。</p>
グループ協議を実施	
会 長	<p>それでは、環境・景観・防災・上下水グループから発表をお願いします。</p>
委 員	<p>環境・景観・防災・上下水グループの重点課題を発表する。</p> <p>1つ目に、まちの中に水を自由に飲めるような水道栓を設置し、そこで水が飲めるようになれば、地域の活性化にもつながるのではないかということから「おいしい水の活用」とした。</p> <p>2つ目に、上河内には非常にゴミが目立つので、もう少し環境整備が必要である。教育の面から見てもそういうことに関心を持たせることも必要であることから「生活環境整備普及」とした。</p> <p>3つ目に、他の地区ではゆずを加工したものが商品化されている。そうした地域ブランド化により、畑の放棄地を減らすことができることから「ゆずの特産品化」とした。</p> <p>4つ目に、西鬼怒川の堤防を整備してサイクリングロードとして活用することで交流の増加が見込めることから「自然を活かした景観活用交流」とした。</p> <p>5つ目に、上河内地区のハザードマップに対する住民の理解が浸透していないため、ハザードマップの見直しや周知の徹底が必要であること</p>

	<p>から「ハザードマップの見直し」とした。</p> <p>以上が、環境・景観・防災・上下水グループで議論した結果である。</p>
会 長	<p>ただいまの発表に対して、意見・質問はないか。</p>
委 員	<p>「自然を活かした景観活用交流の充実」ということであるが、羽黒山を利用した景観活用交流という意見はなかったのか。</p> <p>羽黒山は上河内の象徴であり、利用したほうが良いと思う。</p>
会 長	<p>ぜひ、羽黒山を景観活用交流に加えていただき、方策を考えていくことで次につなげていただきたい。</p> <p>他に意見・質問はないか。</p>
全委員	<p>意見・質問なし。</p>
会 長	<p>それでは、健康・福祉グループの発表をお願いします。</p>
委 員	<p>健康・福祉グループの重点課題を発表する。</p> <p>1つ目に、高齢者がボランティア活動を通じ、引きこもりにならないようにする必要があることから「高齢者を活用したボランティア活動の充実」とした。</p> <p>2つ目に、温泉施設の中で健康づくりを実施することで、温泉利用と健康づくりに対し、さらに需要が高めることができることから「温泉施設を利用した健康づくり」とした。</p> <p>3つ目に、地域バスでは、路線に面した限られた方しか利用できないため、デマンドタクシーなどにより、高齢者が自分で買い物などにいくことができることから「公共交通を充実し、生活圏の拡大」とした。</p> <p>4つ目に、地産地消ということで上河内にはたいへんおいしい食材があり、地産物の販売や食事のできる場所をつくることで強みを活かすことができることから「地元の新鮮な食材を活かした食育の拡大」とした。</p> <p>5つ目に、高齢者の方はいろんなノウハウを持っており、そうした方のノウハウを活かす場があれば、生きがいにもつながってくることから「老人会を活用した生きがいづくり」とした。</p> <p>以上が、健康・福祉グループで議論した結果である。</p>
会 長	<p>ただいまの発表に対して、意見・質問はないか。</p>
委 員	<p>成人病検診について、保健センターでどれくらいの方が検診を受けているのか分からないが、なるべく多くの方が検診を受けるようにする必要があると思う。</p>
委 員	<p>今後、保健センターを有効活用する意味でも推進していくべきであると考えている。</p>

	<p>また、そうした検診を受けたくても、保健センターまでの足がなくて受診できない方もいるということで、重点課題の「公共交通を充実し、生活圏の拡大」にもあるように、受診しやすい環境をつくることも必要である。</p> <p>なお、検診回数や受診率については、次回までに調査し、報告させていただきます。</p>
会 長	他に意見・質問はないか。
全委員	意見・質問なし。
会 長	それでは、子育て・教育グループの発表をお願いします。
委 員	<p>子育て・教育グループの重点課題を発表する。</p> <p>1つ目に、子どもたちとのふれあいが少ないため、各種行事への参加を呼びかけ、地域とのふれあいを大切にする必要があることから「地域主催の行事への積極的参加」とした。</p> <p>2つ目に、地域には団塊の世代の退職者が多く、団塊の世代の方は高い技術や能力を持った方が多い。そうした方々を発掘して地域の子どもたちの教育に活かすことができることから「退職者の中から各種技能を発掘し、地域のために活かす」とした。</p> <p>3つ目に、体を通じて仲間づくりをした子どもたちは、将来も友情は薄れないと思っており、地域の子どもたちのスポーツへの参加が必要であることから「スポーツを通じて子どもたちの絆と地域のふれあいを図る」とした。</p> <p>4つ目に、いろんな行事はたくさんあるが、いつどこで何を行っているのかが分かりにくい。一まとまりにして横の連絡を取り合い、地域と学校と子どもたちが一緒になって行事を充実させる必要があることから「各種行事の統一による活動の充実」とした。</p> <p>5つ目に、核家族が進んでおり、子どもたちが家に帰っても親が家にいないことや、乳幼児を預かってくれる施設が少ないという現状があり、もう少し子育てを支援する必要があることから「幼児支援施設の充実」とした。</p> <p>以上が、子育て・教育グループで議論した結果である。</p>
会 長	ただいまの発表に対して、意見・質問はないか。
委 員	「幼児支援施設の充実」という重点課題であったが、発表の中では乳幼児という言葉も出てきていたと思うので、「乳幼児支援施設の充実」で検討していただきたい。

委員	<p>正しくそのとおりであり、共働きしないと厳しい現状があると思う。</p> <p>それ以外にも、小・中学生がプロスポーツなどの夢を目指してスポーツに取り組むためには、地域に合った総合スポーツクラブを立ち上げる必要があると感じている。</p> <p>学校の先生がそれなりにスポーツを経験し、子どもたちに指導していただければよいが、現実には難しいと思うことから、地域ぐるみで子どもを育てていくスポーツ施設などが必要である。</p>
委員	<p>「乳幼児支援施設の充実」という意見があったが、生まれて3ヶ月くらいから施設に預けることで、親と接する時間が少なくなるというのが現実である。</p> <p>子どもは生まれて最低1年間は親が養うことが大切であると思うが、子どもにしつけをするには、子どものしつけをするための親の教育ができないといけない。</p> <p>そうしたことから「親が安心して子育てができる施設」という意見があれば良かったと思う。</p>
委員	<p>確かに親の教育は必要であるが、地域のボランティアでは厳しいと思う。したがって、行政の指導のもと、乳幼児を預ける施設を整備してもらうしか方法はないと思う。</p>
会長	<p>他に意見・質問はないか。</p>
全委員	<p>意見・質問なし。</p>
会長	<p>それでは発表はここまでとさせていただきます。</p> <p>今回、強み・弱み・チャンス・ピンチをクロス分析して課題の抽出を行ったが、時代の変化が激しい中で、今日の状況が10年先どう変化するかを予測しながら、現状における強みをどう活かし、弱みをいかに補えば良いかを考えることは非常に重要であると思う。</p> <p>環境・景観・防災・上下水グループについては、「ゆずの特産品化」という重点課題があったが、それがテーマとしてどのように結び付くのかを次回以降、もう少し検討していただきたいと思う。</p> <p>その他の重点課題として、水や自然環境・ハザードマップなどについての着眼点は非常に重要であると感じている。</p> <p>健康・福祉グループについては、相互の関連性について詳しく発表していただいたと思う。</p> <p>特に、高齢者が増えていることに重点を置いた課題の抽出であったと</p>

	<p>思う。その中でも高齢者が増えることが、社会全体で負担が増すような後ろ向きな捉え方ではなく、元気な高齢者の方々をどうやって社会参加というかたちで活かしていけるのか、社会参加というかたちでの高齢者の方々の生きがいがづくりを含めた取り組みに努めていくのか、今後の地域としての極めて大きな課題であると思う。</p> <p>また、高齢者だけでなく、食育については年齢を問わないものであり、非常に幅広い課題を設定していただいたと思う。</p> <p>子育て・教育グループについては、地域ということを1つのキーワードとして検討されたということで、いかに地域全体で子育て・教育というものを面として支えていけるかが問われてくると思う。</p> <p>また、地域コミュニティが疎遠になるほど無縁社会となって重く押し掛かってくることになるため、子どもの現状は、ある意味地域の鏡であると言えるのではないかと。そうした点で、地域に着目しながら子育て・教育について再度整え直していくという内容であったと思う。</p> <p>なお、スポーツについても触れていたが、健康というテーマとも関係してくるものであり、地域全体で子どもたちを心身ともにどう鍛えていくのかが求められてくると思う。</p> <p>以上、今後の地域の変化というものを織り込みながら重点課題をまとめていただいたが、どんなことが求められているかという具体的な取組みに関わる部分についての発表もあったと思う。</p> <p>今回の成果を活かし、どのような上河内にしていくべきかという地域の将来像について、目標設定というかたちで、次回、テーマ毎に検討していただくことになると思う。</p>
5	その他
会長	次第5の「その他」について、意見を求める。
事務局	次回の第8回上河内自治会議については、日程が決まり次第、連絡させていただきます。
会長	他になければ本日の議題は終了させていただきます。
全委員	意見・質問なし。
6	閉会
会長	以上で、第7回宇都宮市上河内自治会議を終了する。